

4：音の分解（動物さがし）（音韻認識、思考操作、注意、記憶、想起）

指導のポイント

聞く力1「4：音の分解」

聞いた言葉の中から、動物を探す課題です。この課題は音韻操作を必要とします。『聞く力トレーニング1』にも、音を並べ替える問題がありましたが、今回は動物に限定することでより回答しやすいように配慮しました。もしなかなか回答が出せないようでしたら、はじめのうちは書き示すなどの手助けをしてみましょう。コツがつかめたら、聞き取りだけでチャレンジしてみてください。なお、問題に配慮し、適度にスペースをいれてあ

節ごとに指導のポイントを掲載。前作『聞く力トレーニング』との関連についても表記しました。

問題（毎回必ず読みます）

これから言う言葉の中に、2つの動物をあなたに当ててもらいます。たとえば「ねこ」と「いぬ」がいますね。では、やってみましょう。

【答えが2音+2音】

- ① ぶさるた（★★ぶた、さる）
- ② へねこび（★★へび、ねこ）
- ③ かつるめ（★★かめ、つる）

支援の視点3 「指示が守れない理由」

よく「指示通りに行動できない」という相談を受けます。「叱る」「代わりにやってしまう」などの対応をかけたんはとっても、それが次の「指示を守る」にはつながらず、親子ともども疲れてしまうことも多いようです。

ではここで、どうして指示が守れないのかを考えてみましょう。

①指示内容がそもそもできるスキルがない、②指示が分からない、③指示が衝動的に分かっているが衝動的に指示を守ろうという意欲が強い、④切り替えが難しい、⑤反抗している、など、おおむね上記のような理由が、複合的にお子さんの行動に影響を与えていると考えられます。

まずは、行動の背景をしっかりと探ることからはじめてみてください。（支援の視点4につづく）

「聞く」にまつわるコラムを掲載。「感覚過敏」や「メモの取り方」「聞かせるとりかえの話し方」など、指導場面やお子さんを理解にお役立てください。

8：考えて想像する（思考操作、想像、記憶、注意）

指導のポイント

聞く力1「9：イメージ課題」

聞いたことをイメージしたり、聞いた情報を元に整理し論理的に考える問題です。本課題は、「単純記憶課題」「思考操作課題」「比較課題」の3つに分かれています。「比較課題」では「〇〇のほうが」「〇〇よりも」など、つまずきやすい比較の言葉を用いた問題を特に集めています。なかなか答えが出せないようであれば、絵や図で示してあげましょう。

■思考操作課題

- ① 1階には犬がいて、2階にはねこがいます。上にいる動物はなんですか。（★★ねこ）
- ② 2人の子どもが並んでいます。女の子の後ろに男の子がいます。前にいるのは、女の子、男の子のどちらですか。（★★女の子）
- ③ 男の子と女の子がじゃんけんをしました。男の子が勝ちました。負けたのはどちらですか。
- ④ クレヨンが3本あります。赤んでいます。赤いクレヨンの

クイズ感覚で、聞いて考える力の育成を目指します。

9：文の復唱（記憶、注意）

問題（毎回必ず読みます）

これから私が読んだ文を、そのまま言ってみましょう。最後までよく聞いてから答えてください。言葉を変えないように気をつけましょう。

■ステージ2（★★★）

- ⑰ けんたさんがけいたさんを追いかけてきました。
- ⑱ けいたさんはけんたさんに追いかけてきました。
- ⑲ 大きなネズミが小さな猫を追いかけてきました。
- ⑳ 小さな猫が大きなネズミを追いかけてきました。
- ㉑ 明日の運動会には、お弁当と飲み物を持ってきてください。

正確な復唱で、注意して聞くだけでなく、音読の際の「勝手読み」にも対応できます。

1：持ち物や準備するもの

指導のポイント

持ち物や準備するものについての聞き取り練習です。生活場面で多く見られ、聞き取りのスキルの一つとして身につけておきたい内容になります。本課題に取り組む際に、**見本**に出てくる道具を実際に準備して、行動できるかどうかを見てみるのもいいかもしれません。

共通の教示はありませんので、聞くことが特に苦手なお子さんには「持ち物に気をつけて聞きましょう」など、聞くポイントを事前に伝えてもいいでしょう。メモをとる練習にも活用してみてください（「支援の視点5」を参照）。

□□⑥ これから図工室にいて、クレヨンを5セットかりてきてください。何をいくつ借りてくればいいですか。（★★クレヨンを5セット）

□□⑦ 明日は工作をしますので、家から空のペットボトルを2個持ってきてください。明日の持ち物は何ですか。（★★空のペ

□□⑧ 明日の遠足には、弁当はいりませ何ですか。（★★

持ち物の指示では「ものと個数」、待ち合わせでは「時間と場所」など、聞き取りポイントを繰り返し学習します。

4：話をとらえる

指導のポイント

短い話を聞き、内容や意図を正確にとらえる問題です。前節までの指示を聞き取る問題と異なり、本課題は話をとらえる練習になります。

日常会話の中でも、話の意図が伝わりにくいことや、言ったことを勘違いしてしまうなど、正しい文脈でものごとをとらえるのが苦手なお子さんや、ポイントを絞って話すことが苦手なお子さんもいます。

お子さんの苦手さはそれを活用しながら、意図を捉えた練習をしてみてください

会話で必要な、意図や内容理解についての聞き取り問題。主に「どうして」を考えながら取り組みます。言語力の育成にもつながります。

□□⑧ お母さんが、さっきからお風呂のドアをノックして、「けんた、いつまで入っているの？」と何度も言っている。けんたさんは自分の部屋を出てお風呂場の前に行った。「お母さん、何言ってるの？」お母さんは驚いた顔でけんたさんを見た。どうしてお母さんは驚いているのですか。

（★★★お風呂に入っていると思っていたのに部屋から出てきたから）